

甘くみてはいけない 危険な“熱中症”から 身を守る

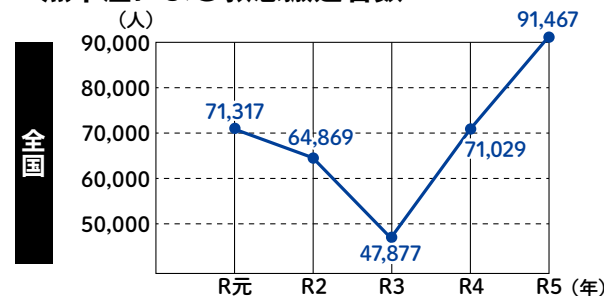


“熱中症”とは

高温多湿な場所に長時間いると、体内の水分と塩分のバランスが崩れ、体温調節が正しくできなくなり、めまいや立ちくらみ、大量の発汗、頭痛、吐き気などの症状が現れ、死に至る場合もあります。
《健康づくり課》

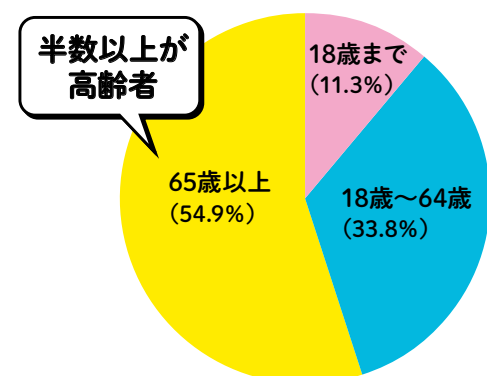
救急搬送者数とその年代など

■熱中症による救急搬送者数

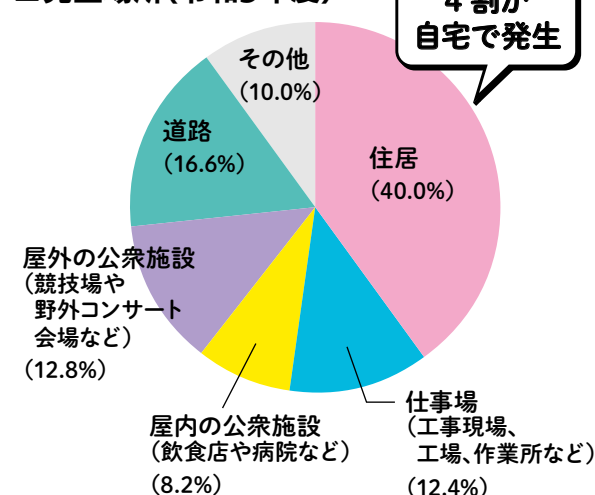


※【出展】令和5年10月27日の消防庁報道資料
(令和5年の熱中症による救急搬送状況)より

■年齢区分ごとの救急搬送者(令和5年度)



■発生場所(令和5年度)



熱中症を予防する方法など、詳細は市ホームページで確認を。右コードからアクセス可



熱中症の予防方法

帽子や日傘を使い、暑さから身を守る

暑い日は無理な外出を控える

吸湿性・通気性の良い服を選ぶ

エアコンでこまめに温度調節する

こまめに水分を補給する

しっかり睡眠し、栄養を取り、体調を整える

詳しくは、厚生労働省ホームページで確認を。右コードからアクセス可



新しい情報で必ず確認

近年の災害級の暑さが続く危険な状況を受け、国では「気候変動適応法」が改正され、熱中症を予防する取り組みが強化されました。これまでホームページなどでお知らせしている「熱中症警戒情報」に加え、命の危機が迫るほど暑くなる日は「熱中症特別警戒情報」を発令し注意喚起します。情報を必ずチェックして事前に予防しましょう。

◆「熱中症特別警戒情報」の発令(※)

⇒ホームページ、メール配信、防災行政無線などでお知らせし、より強力かつ確実な熱中症対策を促します

◆「熱中症特別警戒情報」発令期間中は 猛烈な暑さから避難するための施設(クーリングシェルター)を開放

⇒空調などが管理された公共施設などを開放します。
対象施設は、市ホームページで確認を。
右コードからアクセス可



(※)発令基準

京都府内の全ての暑さ指数情報提供地点(8地点)で、翌日の最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合
※WBGTとは、暑さをどれくらい感じるかを示す数字のことです。天気や風の影響などを考慮して計算されます

熱中症予防情報は環境省ホームページでも確認できます。右コードからアクセス可



引き揚げの史実を継承

朗読劇 READING WORLD ユネスコ世界記憶遺産 舞鶴への生還 『約束の果て』

引き揚げと朗読劇が融合

8月10日(出)・11日(回)に総合文化会館で日本を代表する声優やアーティストによる朗読劇「READING WORLD」が開催されます。

本作品は、第二次世界大戦後にシベリアの地へ抑留された人たちが過酷な環境で労働を強いられる中でも、家族を思い仲間たちと日本に帰ることを強く願い続けるストーリーを描いています。

本市は、昭和20年10月7日に引き揚げ船を受け入れて以降、昭和33年9月7日まで13年間にわたり引き揚げ者約66万人をまち全体で温かく受け入れた歴史があります。

今でも引揚記念館を中心に、まちの歴史やシベリア抑留の史実を後世に継承し、恒久平和へのメッセージを発信し続けています。

改めて「平和」の尊さを考え、引き揚げの記憶を風化させないためにも、当時に思いをはせ、次の世代に継承していきましょう。



朗読劇を運営される春口さんにインタビュー 株式会社 Thanksgiving 代表取締役 春口 秀之 さん

朗読劇を見に来られた方から「まちを元気付けるのに手を貸してもらえないか」という話をいただき、舞鶴を訪問しました。当時は引き揚げの史実を知りませんでしたでしたが、舞鶴の地に立ち、当時に思いをはせる中で、引き揚げについての朗読劇をお届けしたいと決意しました。

今回の朗読劇をきっかけに、多くの人に舞鶴へ来てもらい、朗読劇で語りきれないことは、ぜひ引揚記念館に足を運ん

で歴史に触れていただきたいと思います。すでに、チケット販売は終了しているのですが、今回の朗読劇をご覧にならない人にもぜひ引揚記念館に行ってみてほしいです。

【春口さんの紹介】

愛知県名古屋を拠点に、朗読劇やトークイベント、音楽ライブなどを企画・運営している。京都市では、下鴨神社での朗読劇「鴨の音」を手がける。

